

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業)
授業科目名：保育実習指導Ⅰ（施設） 英語表記：Guidance for PracticeⅠ(Nursing School)		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：高橋努、浅野瞳
ナンバリング：2704			担当形態：クラス分け
科目/系列	/保育実習		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/保育実習指導Ⅰ		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 児童福祉施設等における保育士の役割や、仕事の内容を理解できる。 2. 現代の子どもたちが抱える虐待の問題や、施設で生活する子どもたちの実情を理解できる。 3. 子どもの権利、障害児の実情などを知り、理解を深めることができる。			
【授業の概要】 児童福祉施設等における実習の意義や目的・内容の理解を深め、自らの実習における課題、利用者の人権と最善の利益、プライバシー保護や守秘義務について理解する。また、実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、事後指導等にて実習の総括と自己評価を行い、今後の実習に向けた課題、目標を明確にする。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子ども達の心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			○
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子ども達の権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】 第1回：オリエンテーション(実習の心得、マナー、実習先の確認等) 第2回：児童福祉施設について(振返り)(1) 第3回：児童福祉施設について(振返り)(2) 第4回：実習目標の考え方と実習生調書の書き方(1) 第5回：実習目標の考え方と実習生調書の書き方(2) 第6回：実習課題の考え方と作成 第7回：実習課題と実習計画について(1) 第8回：実習課題と実習計画について(2) 第9回：外部講師(施設職員)による出張セミナー(青嵐荘療育園) 第10回：実習日誌について(1) 第11回：実習日誌について(2) 第12回：ボランティア、実習先オリエンテーションについて 第13回：活動案の考え方(5領域との関連について)活動案の作成 第14回：活動案の作成 第15回：お礼状の書き方		【授業時間外の学習】 保育実習Ⅰ(施設)がスムーズに実施できるよう、以下の学習が必要となる。 1. 配属先の施設に関する情報を集める。(1時間) 2. 配属先の利用者や児童についての情報を集め、理解を深める。(2時間) 3. 文献資料等を参考に、児童福祉施設の歴史的背景等についても学習をする。(2時間) これら調べ学習が必須であり、図書館などを活用し率先して学習すること。	

定期試験：なし	
【授業の方法】 児童福祉法にある児童福祉施設（保育所を除く）及び障害者施設等での実習にあたっての事前準備を行なう。講義を中心に調べ学習等を織り交ぜて行う。フィードバックについては提出物に対してコメントを記入する。	
【テキスト】 『施設実習ガイド - 保育者として成長するための事前事後指導学習 - 』駒井美智子編著 萌文書林	
【参考書・参考資料等】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内で適宜プリント等配布する（実習チェックリスト、施設パンフレット等）。 ・ 配布物チェックリストをもとに、事前準備等を行う。 	
【学生に対する評価】 授業の中間で行う筆記テスト（50%）、提出課題（50%）。（提出課題については、ルーブリック評価を活用する。）	
【履修上の注意】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習Ⅰ（施設）を必ず履修すること。 ・ 課題の提出等、期限を必ず守ること。 ・ 施設実習は学生が自ら考え行動することで、体験から学びとってゆくプロセスが重要である。それぞれが問題意識をしっかりと持ち、積極的・主体的に準備を進めること。 ・ 履修登録時、記載漏れが多いので、チェックを忘れずに行うこと。 ・ 副読本として、本学の『実習の手引き』を使用する。 ・ 10日間の実習を通して、施設保育士の役割をきちんと理解し、保育士としての専門性を見つけられるよう、事前学習、事前準備をしっかりと行い、実習課題（実習計画）を明確にすること。 	
実務経験の有無：有	実務経験：高橋・浅野：施設勤務（社会福祉士）
【実務経験を生かした教育内容】 施設での実習生指導の経験を活かし、実習日誌の記入方法や実習目標の考え方などを説明。実習先の種別に合わせた目標設定ができるよう授業を行う。	